

令和5年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議

運営幹事会 議事概要

(1) 開催日時・会場

開催日時：令和5年5月25日（木） 15:30～17:00

場 所：松山市役所 本館5階 本部会議室

(2) 出席者

「令和5年度 第1回 まつやま人口減少対策推進会議 運営幹事会 出席者名簿」に記載のとおり

(3) 議事

1. 令和4年度決算の認定等について
2. 令和5年度の専門部会の活動内容について
3. デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業の効果検証について
4. 令和6年度の専門部会の活動内容の検討について

(4) 議事概要

1. 令和4年度決算の認定等について

令和4年度の事業報告を行い、決算について、原案どおり認定。

2. 令和5年度の専門部会の活動内容について

各専門部会長から説明後、意見交換。

【ライフデザインプロジェクト】

- ・若者が自分たちのワークとライフの理想を思い描き発信する場として、認定スピーカーからライフキャリアを学ぶ「ライフデザイン出張講座」を市内の大学などで実施する。
- ・認定スピーカーを市内の事業者から募るとともに、スピーカー自身の研鑽のために、スピーカーの目的や意義、学生の就職の状況などを共有する講習を行う。
- ・プロジェクトに参画してくれる学生ボランティアは、大学のコンソーシアムを活用して募り、働く場の多様性について、学生と若手社会人が一緒に研究活動などを行う。

(質疑・意見)

- ・認定スピーカーの人たちが所属する企業の皆さんへの働きかけが大事。そこをどういう形であるかで、認定スピーカー数の増加や、機運の醸成に繋がる。
- ・認定スピーカーの認知度向上のために、シンポジウムや活動報告会を行ってもよいと思う。

⇒早い段階でキャリアを考えてもらうきっかけとして、高校生に向けて提言する機会があってもよいと考えている。

【企業の生産性アッププロジェクト】

- ・令和5年度は、商店街の事業所と連携しながら、DXの推進や、まちづくりと生産性の向上、商業のDXなどの観点での取り組みや研究を考えている。
- ・今年10月からインボイス制度が始まり、特に中小企業はマイナンバー対応と合わせて事務量が膨大となるため、クラウド会計の導入など業務のIT化、効率化を支援する。
- ・今年秋頃に、地域のデジタル活用の状況調査を実施し、コロナ前後の変化から、真にデジタル化が必要な分野を取りまとめ、提言に繋げていきたい。

(質疑・意見)

- ・インボイス制度は、関係ないと考えている事業者が多いので、対応が必要というアナウンスは継続して行わなければならない。
- ・人口減少対策としては、例えばコロナの前後で、デジタル化の変化に対応して、働き方が変わることによって、企業が元気になり、人材の定着に繋がっていくということも考えられる。
⇒現状、デジタル化をしてコストカットしないと付加価値が上がらず、賃金が上がらない。人口減少対策として人手不足の対応、付加価値の向上による利益、賃金の上昇まで全てセットで考えないといけない。

3. デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業の効果検証について

令和4年度に実施した9事業について、事務局から説明後、各委員から意見や質問。

(質疑・意見)

- ・道後温泉の観光客はだいぶ戻ってきたと感じている。一方で、コロナによる雇止めや給与等が不安定になったことなどにより、人員不足の問題もあると聞いている。道後の取組を支えている人たちが安定的に働ける環境を整えることも重要。
- ・若い世代に対するPRは、デジタルマーケティングやSNSなどあらゆる視点での発信を考えないと届かない。
- ・KPIについて、事業効果が分かりやすい指標となっているものもあれば、目標値を大きく超えて達成できているものもある。指標の内容や目標値の適切な設定、結果の分析をしっかりと行う必要がある。

4. 令和6年度の専門部会の活動内容の検討について

事務局から説明後、各委員で意見交換

5. その他

令和5年度の活動予定について事務局より説明